

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 キャッシュレス決済実施事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3143)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,746 千円 (前年度予算額： 1,759 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,759	0	0	0	0	0	0	0	1,759
要求額	1,746	0	0	0	0	0	0	0	1,746
決定額	1,746	0	0	0	0	0	0	0	1,746

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

経産省がまとめた「キャッシュレス・ビジョン」において、キャッシュレス決済の導入を進めていくとされており、本県においても県有施設のキャッシュレス決済の導入を推進している。

・そのため、令和3年度より県有施設においてキャッシュレス決済を導入しており、当該契約が令和5年9月分の取扱額までを対象とした長期継続契約を締結している。なお、キャッシュレス決済の導入を希望した6つの直営施設(高山陣屋、美術館、博物館、現代陶芸美術館、関ヶ原古戦場記念館、木遊館)のうち、4施設(高山陣屋、美術館、博物館、現代陶芸美術館)を所管している文化伝承課が一括して契約を行っている。

・なお、キャッシュレス決済導入に必要な予算は施設所管課がそれぞれで該当施設分を要求しており、本課は所管の4施設分を要求するものである。

・また、キャッシュレス決済は、導入当初以上に一般的な支払方法の1つとして普及が進んでいるため令和5年10月分以降についても、取扱を続けるものとし、当該契約に必要な経費についても要求するものである。

### (2) 事業内容

直営施設におけるキャッシュレス決済の実施

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

### (4) 類似事業の有無

なし



### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	351	インターネット使用料
委託料	1,395	決済手数料
合計	1,746	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

平成30年4月に経産省がまとめた「キャッシュレス・ビジョン」において、平成27年時点で18%程度であるキャッシュレス決済比率を大阪・関西万博（令和7年）までに40%とする目標を掲げ、さらに将来的には、世界最高水準の80%を目指すこととされている。

#### (2) 後年度の財政負担

長期継続契約により令和5年9月までの契約となっており、毎年負担が発生する。また、令和5年10月以降も継続して導入する。

#### (3) 事業主体及びその妥当性

県の直営施設（指定管理を除いた県有施設）のうち、入館料の費用負担を求める施設全てを対象としている。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年9月末までに本課所管の施設4施設分のキャッシュレス決済比率を15%まで上げる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①キャッシュレス 決済比率	0	11.50%	12.00%	15.00%	15.00%	76.67%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	令和2年度には7月より美術館、高山陣屋において実証実験としてキャッシュレス決済を導入し、10月より現代陶芸美術館、博物館においても導入した。これにより、利用者の利便性が向上した
	指標① 目標：4施設 実績：4施設 達成率：100%
令和 3 年度	キャッシュレス決済導入施設数については、令和2年度時点で目標を達成しており変化はない。
	指標① 目標：4施設 実績：4施設 達成率：100%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	経産省がまとめた「キャッシュレス・ビジョン」においてもキャッシュレス決済比率を上げていくことが目標として掲げられている。また、新型コロナウイルス等の感染症対策としてもキャッシュレス決済の導入は必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 キャッシュレス決済比率を上げるための具体的な方法の検討。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 導入している施設の入館料は数百円程度であり、相変わらず現金支払が多く、キャッシュレス決済比率は伸びていない。しかし、一般的にキャッシュレス決済は決済方法の一つとして普及しており、利便性の面から事業を止めることは望ましくないため、継続していく必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】